

ソフトフロントジャパンの LivyTalk がバージョンアップ、 クリアな音質と超低遅延のハイグレード音声通話を実現

～ コミュニケーション製品群の強化と拡販へ ～

株式会社ソフトフロントホールディングス（住所：東京都千代田区、代表取締役社長：野田亨、以下、ソフトフロントホールディングス）の子会社である株式会社ソフトフロントジャパン（住所：東京都千代田区、代表取締役社長：高須英司、以下、ソフトフロントジャパン）は、製品として提供している本格的な IP テレビ電話アプリ「LivyTalk」（Android版）をバージョンアップし、クリアな音質と超低遅延のハイグレード音声通話を実現したことをお知らせします。

ソフトフロントジャパンの製品である LivyTalk（リビートーク）は、スマートフォンやタブレットにて、「簡単」に「おトク」な IP 電話やテレビ電話を実現するアプリで、NTT 東日本／西日本の「フレッツ光ネクスト」「フレッツ光ライト」の「ひかり電話」に対応しているため、ひかり電話の子機としても利用できる特徴があり、NTT 東日本／西日本の「スマホ de ひかり電話」にも採用されています。

（NTT 東日本サイト）<https://flets.com/hikaridenwa/smartphone/>

（NTT 西日本サイト）<https://flets-w.com/opt/wi-fi/scene/smartphone.html>

この度のバージョンアップでは、インターネット技術の標準化団体 IETF（Internet Engineering Task Force）によって標準化された音声圧縮フォーマット「Opus」に対応し、48kHz サンプリングによるクリアな音質と超低遅延の特性によりハイグレードな音声通話品質を実現しました。

これにより、ひかり電話回線を通じて、LivyTalk（Android 版）間の音声通話のみならず、ソフトフロントジャパンの他の製品 LivyTalk Pro や HelloMeeting Next との通話においても同様に、より高音質な音声で通話できるようになりました。

今回の取り組みは、ソフトフロントジャパンが現在進めている音声・映像系コミュニケーション製品群の強化施策の一環であり、2019年7月8日付けで発表した、NTT 西日本「ひかりシェアプレイス」の後継製品として採用された LivyTalk Pro や HelloMeeting Next とのパッケージングによる拡販を促進するものです。

（ご参考）『ソフトフロントジャパンの「LivyTalk Pro」が NTT 西日本「ひかりシェアプレイス」の後継製品として採用』

http://www.softfront.co.jp/library/2019/07/PR_20190708.pdf

ソフトフロントジャパンは、コミュニケーションテクノロジー企業として、ボイスコンピューティングを中心とした自社のサービス展開と共に、他社とのパートナーシップも推進しながらコミュニケーション領域にて事業拡大を目指してまいります。

▼LivyTalk について

<https://www.livytalk.com/lt/>

【株式会社ソフトフロントジャパンについて】

ソフトフロントジャパンは、ソフトフロントホールディングスの子会社として 2016 年 8 月の発足以来、表現力豊かにつながる・伝わるコミュニケーションプラットフォームとして、通話・ビデオチャット・メッセージによるリアルタイム・コミュニケーションを中心とした各種製品やサービスを提供しています。最近では永年培ってきた音声伝送技術を元に、AI や自動化技術も取り入れ、電話業務を自動化するクラウドテレフォニーサービスプラットフォーム「telmee」や、自然会話 AI プラットフォーム「commubo」を展開し、様々な事業領域で新しいコミュニケーションビジネスを創出しています。

⇒ <https://softfront-japan.co.jp/>

【LivyTalk に関するお問合せ】

株式会社ソフトフロントジャパン

コミュニケーションプラットフォーム事業本部 原科

TEL : 03-6550-9930 FAX : 03-6550-9296

E-mail : sales@softfront-japan.co.jp

【リリースに関するお問合せ】

株式会社ソフトフロントホールディングス

グループ業務推進室 五十嵐

TEL : 03-6550-9270 FAX : 03-6550-9296

E-mail : press@softfront.co.jp